

なぜ WEF や他のみんなが「病気 X」を突然、話し出したのか？

<https://www.infowars.com/posts/why-is-the-wef-and-everyone-else-suddenly-talking-about-disease-x/>

Michael Sydney | EndOfTheAmericanDream.com

January 16, 2024

この「病気 X」について話されるすべては、我々が恐れるべきものなのだろうか？ WHO 世界保健機関によれば、「病気 X」は何百万、何千万という人々を殺すかもしれない「未知の」仮説的病気である。それは純粋な理論的病気と考えられている。しかし病名があれば、彼らは基本的に、そのあらゆる種類の理論を、人々に考えさせよう誘っていることになる。そしてそれは今、専門家たちが、それは COVID の 20 倍もの死をもたらす可能性があると言っているからには、なおさらそれは特別の真理のようである。 <https://metro.co.uk/2024/01/15/disease-x-who-pandemic-covid-wef-news-20115642/>

保健の専門家たちが、水曜日、ダボスの WEF 「世界経済フォーラム」に集合し、「病気 X」 Disease X に備えるべきことを討論した。これは 2018 年、WHO がつけた名前、次のパンデミックを起こすかもしれない、未知の仮説的な病原体を指している。

何人かの専門家によれば、病気 X は、コロナウイルス流行病の 20 倍の致死力をもつかもしれないと言っている。

それは WHO の優先されるリストに載っているもので、SARS、エボラ熱、Zika などと一緒に扱われている。

WEF は確かに、この仮説的病気についての宣伝に貢献している。水曜日には「病気 X に備える」といタイトルで、WEF の年次大会の全体セッションが予定され、その説明として「〈病気 X〉はコロナウイルス・パンデミックの 20 倍の致死力をもつ可能性がある」と不気味な宣言をしている。 <https://www.dossier.today/p/at-davos-wef-to-warn-of-a-disease?>

2024 年のプログラムは長期的なものだ。参加者たちは、ファイザーの Albert Bourla や、Open AI の Sam Altman の人工知能について、話を聞かだろ。彼らはまた Bill “Bugman” Gates の気象ペテンの宣伝を聞かだろ。John Kerry は 4 つの異なつたステージに出場し、「エネルギー交換」の議論をするだろ。我々はまたクラウド・シュワップが中国政府の 2 番目の高官と 1 対 1 で話すのを見るだろ。

しかし特にあるパネルは「**病気 X に備えよ**」と貼り出した後に言っている：——
「このトピックは恐ろしく曖昧で、かつ恐ろしく不安を煽るものである」

このディスカッションの説明にはこう書かれている：——「WHO からの、未知の〈病気 X〉はコロナウィルスの 20 倍もの致死力をもつ、という新しい警告に対して、保健機関は、未来の多数の挑戦に備えて何が必要なのか？」

なぜこのような特定の数字を示すのだろか？

私はこれがどんな役に立つのかわからない。

彼らはパニックを起こそうとしているのだろか？

このセッションで用意されている発言者のリストには、WHO の 6 人の局長の名が挙げられている (Tedros 以下省略)。

間違いなく、さらなるグローバルなパンデミックが来つつある。

これは私が読者の方々に、情け容赦なく警告してきたことである。しかし「未知の」病気に特定の名を与え、可能性ある死亡率の数値を言つてのけることは、不健康な憶測に火をつけるだけである。<https://www.amazon.com/dp/B0CM6S4V9V>

もちろん、こんなことをするのは WHO や WEF だけではない。

昨年 6 月に「2023 年病気 X 法」という名前の法案が、アメリカ下院に導入された。

<https://www.congress.gov/bill/118th-congress/house-bill/3832/text?s=1&r=1&q=%7B%22search%22%3A%22HR+3832%22%7D>

そして英国では、作られたばかりのある設備が、現実には、病気 X のための「ワクチン研究」を行つていると言われている。

<https://www.infowars.com/posts/new-vaccine-lab-for-disease-x-unveiled-in-uk/>

この新しい設備は、イングランド、ウィルトシャの、秘密のポータン・ダウン科学・技術キャンパスにあり、ここは化学・生物戦争の研究で最もよく知られている。

この専門家たちは、新しい「病気 X」ウイルスの発生に「備えている」と、8月にBBSは報道した。

私はどうして彼らが、全く「未知の」病気の「研究」を行うことができるのかわからないが、明かにそれが彼らのやっていることである。

幽霊を追っかけているのでなく、我々の指導者たちおそらく、すでに現れたものを捕まえようとしているのであろう。

最近のある研究によれば、アメリカ合衆国の病院での死亡の5件のうちの1件が、[医者の過失によって起こっているという。](https://www.dailymail.co.uk/health/article-12965791/hospital-deaths-bungling-doctors-medical-errors.html) <https://www.dailymail.co.uk/health/article-12965791/hospital-deaths-bungling-doctors-medical-errors.html>

アメリカの病院での死のほとんど5分の1が、誤診によって起こっていると、研究は明らかにした。

先月、医学誌 JAMA に発表されたある研究は、29の異なったアメリカの病院の2,500近くの患者から、2019年の医学的記録を調べた。

患者の全部が集中治療室 (ICU) へ転送され、入院中かその前に死んだ。

もう1つの例をあげよう。Ozempic (減量のために使われる薬) のメーカーが数十人もの人々に訴えられており、中に「残りの生涯を下痢に苦しむであろう」女性がいる。

オゼンピックの使用後に、生涯の残りを下痢に苦しむことになったある女性は、大量に体重を落とす薬のメーカーを訴える患者の一人だが、彼女は、治療不能の胃の痙攣という症状に悩んでいる、と DailyMail.com の調査は明らかにした。

Ozempic と Wegovy のメーカー Novo Nordisk は、アメリカ中の患者からの訴訟を受けており、患者たちは、警告されなかった極端な副反応を経験していると言っている。

別の女性は、文字通り歯が抜け落ちるまで嘔吐した。

我々は、保健の役人が集中して取り組むべき、非常に深刻な問題を抱えている。

そして我々は非常に深刻な病気をもっており、これが最近数か月間に、[この国のあらゆる所で広がり続けている](http://endoftheamericandream.com/children-all-over-the-united-states-are-starting-to-develop-white-lung-syndrome/)。<http://endoftheamericandream.com/children-all-over-the-united-states-are-starting-to-develop-white-lung-syndrome/>

しかし我々の直面する要求にもかかわらず、多くの保健担当役人は、現実化するかどうか分からない「病気 X」に、我々の注意を向けさせようとしている。

なぜだろうか？

もう一度申し上げるが、我々は大きな疫病がごく当たり前になるような時代に生きている、と私は確信する。

しかし私の考えでは、彼らが現実にもその病名を明らかにし、WHO や WEF が取り組んでいる空想が、役に立つようなものかどうかがわかるまで、待つのが賢明であろう。

参考情報：病気 X：New World Order のための秘密兵器

<https://www.infowars.com/posts/disease-x-a-secret-weapon-for-a-new-world-order/>

アレックス・ジョーンズは遙か 2013 年の過去に病気 X を予言

<https://www.infowars.com/posts/watch-alex-jones-predict-disease-x-back-in-2014/>

中国人研究者、人間化されたマウスを 100% 殺す変異コロナウイルスを創る

<https://www.infowars.com/posts/chinese-researchers-create-deadly-mutant-coronavirus-100-percent-fatal-to-humanized-mice/>

[訳者 Greatchain 注]

恐ろしいことと言えばこんな恐ろしいことはないが、こんなウソ臭い、馬鹿々々しい話もない。この 2 つが同時に真顔でやってくるのが、今、現在、我々の直面している時代のあり方である。スイスのダボスに今 (?) 集まっている WEF の連中は、どこまで真剣なのか図りかねる。確かなのは、彼らは絶対にこの計画を実現させないと、この地球をごっそり失うという絶望的な立場に立っていることである。彼らは注射は拒否されても、食べ物によって、世界の人々の遺伝子を変えようと言っているらしい。

これを edible vaccine (食べられるワクチン) と言って、食料としていくらでも作れるから、我々は生き残れないということらしい (?!)。

これと**非常によく似ている**のが、イスラエルによるパレスチナ全滅作戦である。これほど恐ろしいものはないが、これほど無意味で 100 パーセント、マイナス効果をもつものはない。(私は、霊界というものが現実働き出したという仮説を信じている。) これほど矛盾した作戦はないだろう。しかし、どんなことがあっても、それはやらなくてはならないとイスラエルのトップは考えている。そして不思議なことに、絶対に停戦はしない、その選択はありえないと考える点で、ネタニヤフとゼレンスキーは完全に一致している。